



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 太平洋セメント株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 5233 URL <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 修二
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 荒木 誠一 (TEL) 03-5531-7334
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	620,425	12.5	50,765	110.8	50,806	185.3	23,725	233.0
25年3月期第3四半期	551,499	2.2	24,080	28.4	17,809	71.6	7,123	549.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 43,383百万円(382.6%) 25年3月期第3四半期 8,989百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.31	—
25年3月期第3四半期	5.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,037,849	258,631	21.8
25年3月期	982,473	219,826	19.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 226,482百万円 25年3月期 191,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	824,000	10.2	64,000	57.4	57,000	74.5	21,000	85.4	17.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,237,800,586株	25年3月期	1,237,800,586株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	9,312,178株	25年3月期	9,543,868株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,228,380,567株	25年3月期3Q	1,228,302,342株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和による円安・株高の進行、及び東日本大震災の復興需要などにより緩やかな回復傾向が続きました。また、米国経済は緩やかな景気回復基調が続き、中国経済は景気拡大が安定化しつつある一方、その他アジア地域では経済成長に鈍化がみられました。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,204億2千5百万円（対前年同期689億2千6百万円増）、営業利益は507億6千5百万円（同266億8千4百万円増）、経常利益は508億6百万円（同329億9千6百万円増）、四半期純利益は237億2千5百万円（同166億1百万円増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。各金額についてはセグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

① セメント

セメントの国内需要は、東日本大震災の復興工事やその他災害の復旧工事が増加し、また都市部における民間再開発を中心とした民間建設投資が堅調に推移しているため、3,617万トンと前年同期に比べ7.0%増加しました。そのうち、輸入品は58万トンと前年同期に比べ5.4%減少しました。また、総輸出数量は631万トンと前年同期に比べ12.1%減少しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め1,266万トンと前年同期に比べ8.1%増加しました。輸出数量は218万トンと前年同期に比べ10.9%減少しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、多くの地域で出荷数量が伸び、市況も概ね回復傾向を示しています。中国のセメント事業は、価格競争激化の影響を受けました。ベトナムのセメント事業は、好調な輸出により業績を伸ばしました。フィリピンのセメント事業は、堅調な内需に支えられ、好調に推移しました。

以上の結果、売上高は4,008億2千8百万円（対前年同期370億1千3百万円増）、営業利益は342億7千8百万円（同187億4千8百万円増）となりました。

② 資源

骨材事業は、首都圏や東北地区などでの出荷が増加し、販売数量は前年同期を上回りました。鉱産品事業は、鉄鋼向け石灰石の出荷などが堅調に推移しており、販売数量は前年同期を上回りました。建設発生土処理事業は、好調に推移しており、受入数量は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は704億1百万円（対前年同期72億5千9百万円増）、営業利益は56億円（同24億9千2百万円増）となりました。

③ 環境事業

脱硫材や石膏の販売が好調に推移したことに加え、石炭灰や廃プラスチックの処理収入も増加しました。また、災害廃棄物処理の取り組みは、前年を上回る規模で進みました。

以上の結果、売上高は759億5千1百万円（対前年同期205億4千1百万円増）、営業利益は61億6千1百万円（同10億4千1百万円増）となりました。

④ 建材・建築土木

地盤改良工事が主に首都圏の旺盛な需要に支えられて大きく伸長し、ALC（軽量気泡コンクリート）などの建設材料も物流倉庫や住宅等の建築工事の増加により好調に推移しました。

以上の結果、売上高は634億6千4百万円（対前年同期66億5千7百万円増）、営業利益は24億7千8百万円（前年同期は3億7百万円の営業損失）となりました。

⑤ セラミックス・エレクトロニクス

セラミックス事業は、半導体製造装置及び液晶製造装置向け製品ともに、ユーザーの設備投資が回復し堅調に推移しました。エレクトロニクス事業は販売数量が前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は88億9千4百万円（対前年同期4億9千1百万円減）、営業利益は2億4千5百万円（前年同期は11億3百万円の営業損失）となりました。

⑥ その他

売上高は496億3千8百万円（対前年同期2億1千2百万円減）、営業利益は21億2千2百万円（同3千9百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ553億円増加して1兆378億円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ265億円増加して3,572億円、固定資産は同288億円増加して6,805億円となりました。流動資産増加の主な要因は受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ165億円増加して7,792億円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ151億円減少して4,474億円、固定負債は同316億円増加して3,317億円となりました。流動負債減少の主な要因は短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債増加の主な要因は社債が増加したことによるものであります。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ122億円減少して4,617億円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ388億円増加して2,586億円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点で平成25年11月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,379	66,296
受取手形及び売掛金	174,336	187,813
商品及び製品	25,920	27,598
仕掛品	4,788	8,182
原材料及び貯蔵品	36,455	37,827
その他	31,413	31,142
貸倒引当金	△1,587	△1,593
流動資産合計	330,706	357,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	146,664	143,407
機械装置及び運搬具（純額）	108,314	109,112
土地	152,625	154,650
その他（純額）	49,884	62,085
有形固定資産合計	457,489	469,255
無形固定資産		
のれん	11,303	10,818
その他	30,275	30,675
無形固定資産合計	41,578	41,493
投資その他の資産		
投資有価証券	85,128	96,935
その他	74,282	79,014
貸倒引当金	△6,713	△6,118
投資その他の資産合計	152,698	169,832
固定資産合計	651,766	680,581
資産合計	982,473	1,037,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,010	89,056
短期借入金	274,760	244,416
1年内償還予定の社債	11,478	10,450
未払法人税等	11,000	21,287
賞与引当金	4,711	3,501
役員賞与引当金	7	7
その他の引当金	4,893	2,042
その他	70,730	76,711
流動負債合計	462,591	447,473
固定負債		
社債	32,385	47,450
長期借入金	155,336	159,410
退職給付引当金	25,448	26,421
役員退職慰労引当金	505	490
関係会社事業損失引当金	138	138
特別修繕引当金	343	355
資産撤去引当金	1,866	1,801
資産除去債務	8,032	7,614
その他	75,998	88,061
固定負債合計	300,054	331,744
負債合計	762,646	779,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	50,636	50,690
利益剰余金	91,174	109,990
自己株式	△934	△923
株主資本合計	227,051	245,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,168	6,263
繰延ヘッジ損益	78	54
土地再評価差額金	4,563	4,330
為替換算調整勘定	△39,640	△26,096
在外子会社の退職給付債務調整額	△3,793	△4,000
その他の包括利益累計額合計	△35,624	△19,448
少数株主持分	28,399	32,148
純資産合計	219,826	258,631
負債純資産合計	982,473	1,037,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	551,499	620,425
売上原価	438,811	474,752
売上総利益	112,687	145,673
販売費及び一般管理費	88,607	94,908
営業利益	24,080	50,765
営業外収益		
受取利息	304	324
受取配当金	438	440
持分法による投資利益	—	2,300
その他	3,299	5,660
営業外収益合計	4,042	8,725
営業外費用		
支払利息	6,929	6,463
持分法による投資損失	894	—
その他	2,489	2,221
営業外費用合計	10,313	8,684
経常利益	17,809	50,806
特別利益		
固定資産処分益	3,202	1,347
その他	585	129
特別利益合計	3,787	1,477
特別損失		
固定資産処分損	2,755	1,687
その他	2,154	619
特別損失合計	4,910	2,306
税金等調整前四半期純利益	16,686	49,976
法人税等	9,456	25,158
少数株主損益調整前四半期純利益	7,229	24,818
少数株主利益	106	1,093
四半期純利益	7,123	23,725

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,229	24,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	2,996
繰延ヘッジ損益	11	△23
為替換算調整勘定	396	11,816
在外子会社の退職給付債務調整額	245	△207
持分法適用会社に対する持分相当額	1,291	3,981
その他の包括利益合計	1,759	18,564
四半期包括利益	8,989	43,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,670	40,133
少数株主に係る四半期包括利益	318	3,249

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
(1)外部顧客への 売上高	354,917	49,665	51,157	53,725	9,366	518,832	32,666	551,499	—	551,499
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,897	13,476	4,252	3,082	18	29,727	17,184	46,911	△46,911	—
計	363,814	63,142	55,410	56,807	9,385	548,560	49,850	598,410	△46,911	551,499
セグメント利益又は 損失(△)	15,529	3,107	5,120	△307	△1,103	22,346	2,082	24,429	△349	24,080

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
(1)外部顧客への 売上高	391,479	55,433	72,169	60,149	8,886	588,118	32,307	620,425	—	620,425
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9,348	14,967	3,782	3,315	7	31,421	17,331	48,753	△48,753	—
計	400,828	70,401	75,951	63,464	8,894	619,539	49,638	669,178	△48,753	620,425
セグメント利益	34,278	5,600	6,161	2,478	245	48,763	2,122	50,886	△121	50,765

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。